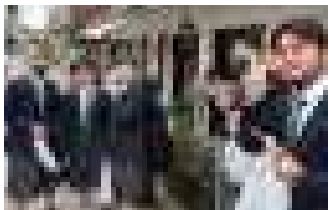


壹学年だよ！全員集合～



篠山城跡にて集合写真



町中でも元気で

「黒豆ソフトクリーム、マジ美味い！」と「大正ロマン館」で教えてあげたのに、「私、黒豆苦手なんです！」とありやうや、黒豆が苦手だなんて、吉永小百合さんもガツクリ※です。(二面参照)

篠山遠足実施される

篠山城跡散策・陶芸体験など盛り沢山の一日だ！

中間試験も終わり一息ついた10月23日(金)、一度は中止になり、そして不死鳥が行われました『篠山遠足』が行われました。

①規律ある集団行動を通じて、協調性・社会性・帰属意識を高める

②篠山散策および陶芸体験を通じて、郷土兵庫県の伝統文化と歴史に対する興味・関心を高める。

という崇高な目的の下に、とにかく校外に出て羽を伸ばしてきました(笑)。

朝8時25分、集合完了！と思いきや、4名遅れ！といずれ何かお手伝いをしてもらいましょう。8時35分、6台のバスに乗車し、出発シンコー。行き先は篠山城跡地です。そこでクラス毎に班別オリエンテーリングが始まりました。行き先は『大書院』『歴史美術館』『青山歴史館』『武家屋敷安間家史料館』の4カ所を回って4ヶ所廻す。ノンビリして4ヶ所廻れなかった班もあった様ですが、それはそれで良しです。「先生、昼飯何処で食べるんですか？」

小さな町です。お食事処はほとんどありません！と何度も言っていたのに、

「黒豆ソフトクリーム、マジ美味い！」と「大正ロマン館」で教えてあげたのに、「私、黒豆苦手なんです！」とありやうや、黒豆が苦手だなんて、吉永小百合さんもガツクリ※です。(二面参照)



ただ今散策中！



45回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生
発行所 〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
http://www.hyogo-c.ed.jp/~ikawadani-hs/

紙面から

5	4	3	2	1
篠山遠足実施される				
篠山イカ高生に占拠				
主任壮大なる実験実施				
これが「やまの」立杭焼だ				
ちよいとスゲえ今のバス				

兵庫県立伊川谷高等学校 校歌(1番)
作詞 黒部 亨
作曲 岡村 隆治

若草の 萌ゆる岡辺に 陽はあふれ
清らかな命 育まむ
とこしえに たゆみなく
道の奥地を 究むるところ
うるわし母校 伊川谷高校

学年キャッチフレーズ
笑顔・夢
校訓
自主協同

11月4日(水)は創立記念日

です。何故この日が創立記念日になったのか少し調べてみましたが、結果は分かりませんでした。この日は生徒の皆さんは休日扱いになるのでお休みです。日頃の疲れをしっかりと取ってください。因みに私達教職員は平日なので普通に仕事があります。



篠山、イカ高生に占拠される！

篠山は小さな町です。そんな篠山の町に200名弱のイカ高生が一気に解き放てば、あつと一瞬間に解き放つて占拠されてしましました。あつちを見ててもこつちを見てても、見えるのはイカ高生ばかり！、篠山の町をイカ高生が縦横無尽に闊歩しています。突如湧いたイカ高生に対してもショッカー扱いせず、友好ムードを飛ばし出して、くれる有り難い地元の人達でした。



見事な変身を果した主任

一人は一体、何をもちてその人をその人と認識するのだろうか。声？動き？外見？それを確認するため、学年主任(本誌編集長)はある実験を行った。篠山にいてすぐにその実験は開始された。頭を丸め、シャツを脱ぎ白系ジャケットをまき、メガネをコンタクトに替え、不織布白マスクもスポーツ用黒マスクに替える主任、徹底的に「変身」しました。この格好にて低めの声で、篠山の町を行き交うイカ高生に声を掛けまくる主任：「君は何処の高校だ？」

「い、伊川谷高校です。」

「それは何処にある？」

「こつ、神戸です。」

突然の事に戸惑いながらも一生懸命答えるイカ高生達、とても素直です。その横を、「聞わんばんこー！」と言わんばかりに女を置いてそそくさと逃げたイカ高生も。人間性が表れます。いずれにしても、イカ高生たちはこの男の正体に行く気付きませぬ。実験の結果、外見が変われば人の認識力が著しく低下することが分かりました。

「俺じゃ！」

「ん？え、え、え？」

バラすまで気付いても言えませんでした。と言うか、バラしてもまだ状況認識できてない様です。実験は見事に成功しました。ただ無くなった頭髪が再び回復するのかが、危険な実験でした。(二面に続きます)

学科 壮大なる実験を実施

カ高生達、とても素直です。その横を、「聞わんばんこー！」と言わんばかりに女を置いてそそくさと逃げたイカ高生も。人間性が表れます。いずれにしても、イカ高生たちはこの男の正体に行く気付きませぬ。実験の結果、外見が変われば人の認識力が著しく低下することが分かりました。

何とかなえよう。そうする事で、いつか必ず「幸せ」感ずる事ができるから。みんなの幸せを祈ります。(福田)

天性人語45+

コロナで始まった45回生の高校生活、一時はどうなるかと真剣に考えた。だが、半年遅れではあるが、無事校外学習(遠足)を行う事ができたことである。▼まだまだ平常とは程遠いが、それでも昔で言う「日常」にかなり近づいたのではないだろうか。コロナに対する危機感もまだ残ってはいるが、半年前より状況は改善している。しかしその反面、大切な気持ちも薄らいでしまっているのか。▼長期休業中のみんなの希望を見ると、「早く学校に行きたい」「友達達の顔が見たい」そんな内容ばかりであった。その希望がほぼ自由に叶う現状に、みんなの中に「有り難さ」が残っているだろうか。▼コロナは私達から「当たり前」の日常を奪い去った。その代わりに今まで気付かなかった「何げない日常の素晴らしさ」を覚えてくれた。阪神淡路大震災に東日本大震災、その他多くの震災でも「何げない日常の素晴らしさ」に多くの人が気付いたはずである。人はどうやら、時間と共に大切な事を忘れていくものらしい。▼辛い事や苦しい事、思い出したいこともない事も沢山あるかもしれない。しかし、何げない日常にも幸せを感じる事ができるのだろうか。ならば、辛いときも何とかなえよう。そうする事で、いつか必ず「幸せ」感ずる事ができるから。みんなの幸せを祈ります。(福田)

コミュニケーション型 (1年組) です

WORLD HIGH SCHOOL PREMIUM STUDY

伊川谷/神戸西区のプレミアム・ハイスクール
kawaDani HIGH SCHOOL

コミュニケーション学習の先駆者が集結！ オープンハイスクール 11/14(土) 3回開催

詳細はこちら [英欄溢れる学校](#) 検索 ※土日は授業は行われませんが、エデュケーションの自宅学習のご利用をお勧め致します。

読者のページ

School Teacher @ Voice

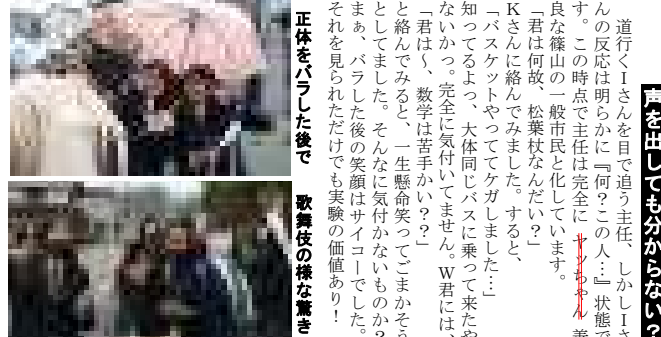
笑顔 いっぱい

篠山散策

校外で羽を伸ばす笑顔の45回生でした



手びねり体験



実験の犠牲者続出!

道行くIさんを目で追う主任、しかしIさんの反応は明らかに『何?この人?』状態です。この時点で主任は完全に「善い人」な篠山の一般市民と化しています。君は何故、松葉杖なんだい? Kさんに絡んでみました。すると、バスケットやってケガしました!...知ってるよっ、大体同じバスに乗って来たやないかつ。完全に気付いてません。W君には、君は、数学は苦手かい? と絡んでみると、一生懸命笑ってごまかそうとしてました。そんなに気付かないものか? まあ、バラした後の笑顔はサイコーでした。それを見られただけでも実験の価値あり! 正体をバラした後で 歌舞伎の様な驚き

勉強だって部活だって、「やらされてる感」があるうちはモノにならない!

▼ウオコ 人は何故、粘土を手にするのコレを作ったがるのだろうか? 遠い過去からの、祖先から受け継がれたDNAのなせる技なのだろうか? この日もまた、粘土を手にした1人の少年

▼バミラ 大賞ロマン館でアイスを買ってるイカ高生2人です。手に持つアイスは5つ、まさか2人で食べる気じゃ。因みに種類は黒豆ではなくバニラでした。 ※吉永小百合さんが歌う『奈良の春日野』という歌の一節、昭和のお化け番組『オレたちひょうきん族』『笑っていいとも』で一躍話題になった。

▼師弟愛 片腕を負傷しているT君、この状態で陶芸を行うのはかなり困難を極めます。すかさず担任森田先生がサポート、二人三脚で一つの作品に取り組みました。美しき師弟愛ここにあり!

▼1年あれこれ 片腕を負傷しているT君、この状態で陶芸を行うのはかなり困難を極めます。すかさず担任森田先生がサポート、二人三脚で一つの作品に取り組みました。美しき師弟愛ここにあり!

▼見事にサポートします

▼悲しき人の性さ が、コチコチとウオコを作っていました。

これが『やまの』立杭焼だ

篠山城跡を出発して30分程で、一行は立杭焼の工房『窯元やまの』に着きました。バスを降りてすぐに2階体験室に上がる生徒達。目の前にはマグカップ大の粘土が用意されていました。いきなりさあ体験開始! という訳にもいきませんが、まずは工房の方の実演見学です。

「うおおおおお!」としか表現できない位の凄さです。粘土がクルクル回しながら『あつ』と言う間にトックリや湯飲みに変わっていきます。恐ろしい、日本の伝統工芸!

「ぼん! うわあああ〜」

かなり高度な事が要求されてます。大丈夫か? イカ高生!。実際に作り始めると、
「保育園児になった気分っつ」
完全に童心に返ってました。
「何作つとるか分からん!」
と言つて粘土を丸め、一からやり直す者もいれば、
「ワイングラスです!」
でも、どう見てもぐいぐいに見えます。作品いろいろです。

「焼くと小さくなるので、それを計算して大きめのモノを作ります。小さくなるけど重さは変わりません。」
数学や理科が苦手なイカ高生には非常に高度な説明です。理解出来たか? イカ高生よ。出来たら、紙に認める字で名前を書いてください。おつと、これも平安貴族の多いイカ高生には高度な要求だ! (学年通信2号一面「平安貴族、多数学現」参照) 何やかやで、生徒も先生も楽しんだひとときでした。

先生もハマりました(笑)

忘れてはいけない、人の想いを大切に! 伊川谷高等学校45回生

ちょっとスゲえぜ、今のバス!

最近の観光バスって、メチャスゲえっすよ。何がすごって、座席もキレイだし、USB充電端子もついてるし、おまけにトイレ完備ですよ、トイ・レ! コレさえあれば、遠足に付きものだった『トイレ休憩』が要らなくなります。コレはまさに令和の進化です(驚!).

バスの中は換気もパッチリ、おまけに生徒の歓喜もパッチリでした。行きのバス内の騒がし〜楽しそうな事、余程嬉しかったのでしよう。その反動か、篠山から陶芸『やまの』への移動

中では多くの者が寝てました。さらには帰路のバス内は皆爆睡。きつと中間テスト勉強の疲れが出たのでしよう(そういうことにしておこう)。

とても豪華なバス内です

予告 焼き物品評会開催

今回制作した『陶芸作品』ですが、本来であれば45日程で焼き上がったモノが学校に届きます。しかし今はコロナの状況下...、ちょっと時間がかかって60日程を要します。すなわち、『忘れられた頃にやってくる』のです。

作品が届いたら、『学年コンクール』を開催します。開催形式等は追って発表しますが、みんなの作品を見ることが出来るぞ。楽しみにしておこう!

戦隊ヒーローの様に手を差し出して、写真に収めてます。因みにこの5人、誰がレッド?

栗饅頭片手に満足そう